

# 新型コロナウイルス感染症拡大防止にあたり【年末年始】

雪ヶ谷八幡神社

## 社殿・社務所・境内

- 参拝の皆様は、境内ではマスクを着用頂き、各所に設置致しましたアルコール消毒液をご使用下さい。
- お手水は柄杓もしくは流水をお使いください。
- 社殿前御鈴ご使用の際は必ずアルコール消毒の上でご使用下さい。
- 「おふだ」「おまもり」授与所は、ブースに分け、お一組ずつ承ります。  
「おふだ」「おまもり」もディスプレイからお選び頂きます。  
尚、「おみくじ」はアルコール消毒の上でお受け下さい。
- 神社職員は、消毒の上でマスク・手袋等を着用し、参拝の方へ対応致します。
- 御朱印は直接帳面にお書入れせず、用紙でのお渡しとなります。

## 御祈願 ※正月期間（三が日と一月二十四日迄の日曜日・祝日）

- ご予約無く承ります。（九時より十七時まで 但し一日は十一時からとなります。）
- 基本、御祈願に付きご代表お一人様が社殿にお上がり頂きます。（消毒とマスク着用）尚、ご家族・ご関係の方は、社殿横に仮設祈願待合所を設置し、モニターを通して社殿内の模様を確認頂けます。（その場でご一緒にお参り下さい。）
- 同時の御祈願組数を抑え、ソーシャルディスタンスを確保致します。
- 社殿は空気溜まりを防ぐべく扉を開けさせて頂くと共に、消毒剤を噴霧致します。
- 神職も「祝詞」以外はマスクを着用して御祈願致します。

## 御祈願 ※正月期間以外

- ご予約にて承っております。（九時より十七時まで）
- お受けになられる方は、消毒とマスク着用の上で、社殿にお上がり頂きます。尚、お人数が多い場合は、社殿にお上がり頂く人数を制限させて頂きます。
- 社殿は空気溜まりを防ぐべく扉を開けさせて頂くと共に、消毒剤を噴霧致します。
- 神職も「祝詞」以外はマスクを着用して御祈願致します。

## 御祈願 ※読み上げ

- 御祈願主に代わり、社殿にて神職が祝詞を奏上し御祈願致します。  
お電話または当社ホームページの「お問い合わせ」にてお申込み下さい。

※令和二年の御祈願受付は十二月三十日正午を以て終了致します。

## 疫病退散札授与

コロナ禍に伴い奉製致しました「疫病退散札」を引き続き配布致しております。  
ご希望の方は神社社務所にてお申し出下さい。（無料）

## 年末年始・新春の行事

【年越大祓祭】 令和二年十二月三十日(水) 午後四時祭典

罪穢れを祓い清め清々しく新年を迎えましょう。

※境内祭典はご自由にご参列頂けます

本殿祭典はコロナ禍に伴い役員のみとなります。

【元旦祭】 令和三年一月一日(金・祝日) 午前九時祭典

新春を寿ぎ、皇室の弥栄と国家の安泰と氏子崇敬者の御安寧を御祈念致します。

【正月祭】 令和三年一月十五日(金) 午前十時祭典

皇室の弥栄と日本国の繁栄、収穫(農業)・産業(商業・工業)の発展と氏子崇敬者の御安寧とを御祈念致します。

【天神祭(末社天神社)】 令和三年一月二十五日(月) 午前十時祭典

学問の神様菅原道真公の祭典です。菅公にあやかり勧学・合格祈願を。

※ご自由にご参列頂けます

【節分追儺式前夜祭】 令和三年二月一日(月) 午後三時祭典

鬼邪気・疫病を祓い、無病息災を御祈念致します。

※節分は「立春」前日。令和三年の「立春」は二月三日となり、当社「節分追儺式前夜祭」も

例年より一日早い二月一日開催となります。

※ご自由にご参列頂けます

【紀元節祭並水神社祭】 令和三年二月十一日(木・祝日) 午前十時祭典

古事記・日本書紀の中で神武天皇が即位したとされる日です。

日本の建国をお祝いする祭典です。

【古武道・合気道等武道奉納式】 二月十一日(木・祝日) 午後十二時半閉式

「雪谷誠剣塾」により演武奉納。真剣を使った演武等は見ごたえがあります。

※ご自由にご観覧頂けます(神楽殿にて)

尚、以下恒例行事は本年行いません。

× 一月一日零時よりの『力餅』の配布・ふるまい

× 一月二・三日境内に開設の「巫女茶屋」

× 一月三日『新年大祈願祭』

尚、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、

急遽の行事内容を変更致す場合もございます。

以上